



# 東京大学指定国立大学法人構想 工程表 (簡略版)

## 2. 研究力強化

取組 (関連する中期計画番号)	2016年度まで	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
つくば-柏-本郷イノベーション コリドー (23, 25, 32)	TIA参加	TIA連携プログラム探索推進事業「かけはし」開始			知識集約型 産業集積形成の ための拠点整備	検証・調整、継続実施	
	OPERANDO-OIL 設立	共同研究 開始	連携ラボ 実験室の 整備	研究進捗 発表会		検証・調整、継続実施	
		グローバルAI研究拠点の整備	稼働			検証・調整、継続実施	
				柏地区キャンパスにおける高度情報インフラの整備		検証・調整、継続実施	
			本郷地区キャンパスにおける浅野地区の高度利用			検証・調整、継続実施	
国際協働・発信の強化 (39, 44)	戦略的パートナーシップ構築プロジェクト の実施 (2014-) 先端共同研究と共同教育プログラムの展開	第2期 (2017-2020)		国際ネットワー クの強化	共同研究・ 共同教育の 活性化	検証・調整、継続実施	
	WEF(ダボス会議), STSフォーラム, IARU等との連携強化	国際連合大学 との連携強化				検証・調整	継続実施
		若手研究者の国際展開事業 公募・選考 事業開始					検証・調整、継続実施

## 3. 社会連携

取組 (関連する中期計画番号)	2016年度まで	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
産学協創 (31, 32)	大規模組織間連携 (日立, NEC)	産学協創研究創出 のための体制強化		年間4件程度 の案件創出	検証・調整	継続実施

# 東京大学指定国立大学法人構想 工程表 (簡略版)

## 3. 社会連携

取組 (関連する中期計画番号)	2016年度まで	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
ベンチャー育成 (31, 32, 36, 37, 38)	<p>東京大学協創プラットフォーム開発株式会社設立</p> <p>1号投資事業有限責任組合設立・出資認可、VCへの間接投資開始</p>	<p>ベンチャー企業への直接投資開始</p> <p>本郷キャンパス・病院南研究棟改修</p>	<p>柏IIキャンパス・産学協創プラットフォーム拠点竣工</p>	<p>目白台・起業家教育施設竣工</p>	<p>計1haの施設整備</p> <p>起業負担の軽減</p>	<p>ベンチャーエコシステムの拡充</p> <p>年間30社創出</p>
学術成果の社会への還元 (30, 35)		<p>フィールドスタディ型政策協働プログラム</p>	<p>指定国立大学法人に認められる出資事業等の活動の検討</p>	<p>ニーズ対応型実践的リカレント教育(数理・データサイエンス等)</p>	<p>地域社会との連携強化</p> <p>事業化</p> <p>高度専門人材の育成</p>	<p>検証・調整</p> <p>検証・調整、継続実施</p> <p>検証・調整、継続実施</p>

# 東京大学指定国立大学法人構想 工程表（簡略版）

## 4. 大学運営・経営機能の強化

取組（関連する中期計画番号）	2016年度まで	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
<b>安定的かつ自律的な経営基盤の獲得</b> (32, 53, 60, 61, 62, 63, 65, 66, 69, 72)	予算委員会の設置 新施設維持管理システムの創設	施設保全カルテ作成の現地調査		〔人・金・スペースの透明化・効率化〕	検証・調整、継続実施	実質100億円程度の自由度の高い財源の構築
	固定資産(不動産)貸付取扱要領改正、貸付単価の見直し	土地等不動産の有効活用に向けた検討の開始				
	同窓会組織等との連携強化、全都道府県に同窓会設立	帰国留学生ネットワークの拡充、卒業生活動を支えるリソースの整備		(個人寄附の件数・金額を毎年1割増)	〔卒業生の寄附意識・文化の醸成〕	
<b>財源多様化</b>	(再掲) 外部資金によるグローバルAI研究拠点の整備		稼働			
	(再掲) インキュベーション施設の拡充を決定	本郷キャンパス・病院南研究棟改修	柏IIキャンパス・産学協創プラットフォーム拠点竣工	目白台・起業家教育施設竣工	〔インキュベーション収入の増加〕	
	(再掲) インキュベーション事業におけるエクイティ受け取りの制度設計の検討		導入			
<b>職員のプロフェッショナル化</b> (43, 56)		近隣大学とのアライアンス構築			〔能力向上と処遇改善〕	検証・調整、継続実施
			複線型キャリアパスの導入			検証・調整、継続実施